



令和4年度「魚つかみ楽しみ隊」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和4年5月21日(土) ※日帰り

2 日程 午前の部 ()内は午後の部

5月21日(土)	
9:30(13:30)	受付開始
10:00(14:00)	出会のつどい【つどいの広場】
10:15(14:15)	魚つかみ(河川プール)
11:00(15:00)	魚を焼いて食べる【つどいの広場】
11:45(15:45)	片づけ・感想記入
12:00(16:00)	解散



3 ねらい

・魚つかみを行うことで大自然を満喫するとともに家族の親睦を深める。

4 対象 家族および一般 ※午前・午後16組

5 参加者数 午前16家族 50名 午後14家族 56名 計30家族 106名

II 実施状況

昨年度、好評であった魚つかみの主催事業を今年度も実施することができた。

各家庭で十分に間隔を取り、魚の種類と魚つかみ体験の大まかな流れを確認した後、早速河川プールに移動した。まずは各家庭それぞれ素手で魚つかみに挑戦していただいた。

参加された方は少し冷たい河川プールの水に驚いていたが、水に慣れ始めると、歓声を上げながら楽しんでいた。今年度は、河川プールの広さを半分程度にするために仕切りを自作したことがよかったのか、昨年度よりもスムーズに魚をつかんでいた。途中、追い込み用の網も用意し、子どもでも手づかみで獲りやすいエリアを作り、満足していただいた。

素手でつかんだり、タモで獲ったり、参加者は思い思いに魚つかみに夢中になっていた。

また、今年度は、午前の部終了後にも新たな魚を仕入れ、午後の方にも充分につかんでいただく魚の量があったので、午前・午後で格差はなかった。

次に、獲った魚をバケツに入れてつどいの広場に戻り、魚を調理していただいた。ここでも今年度はU字構の焼き場ではなく、BBQコンロを新たに購入し、焼いてもらった。炭の量も少なくて済み、魚を



焼く様子もスムーズにいったので、後期開催でも活用していきたい。

焼いた魚は、多くの方から「おいしい」という感想をいただいた。そして、「また参加したい」「毎月やってほしい」という意見もいただいた。

この事業は、応募総数317名（午前60組206名、午後32組111名）と多くの申し込みをいただいた。魚を自分の手でつかんで、それをいただくという日常生活ではなかなか体験できない活動は、多くの方に興味を持っていただいていることが今年度の募集でもわかった。

今年度は後期にも開催予定なので、まだ参加されていない方に楽しんでいただきたい。継続した事業となるようにしていきたい。



Ⅲ 総括

1 参加者の感想(抜粋)

- ・ 魚にもベロがあって大発見をして楽しかった。(子ども)
- ・ 魚をつかまえるとき、岩のある端の方によく集まることがわかりました。また、獲った魚はおいしかったです(子ども)
- ・ とても素敵な企画だと思いました。コロナ禍で体験型イベントが減っているため、このような企画を催してくださり感謝感謝です。また参加したいです。(保護者)
- ・ 川の水はとても冷たかったですが、魚つかみを始めると夢中になり、冷たさを忘れてしまうほどでした。子どもは3匹手づかみできて満足で串に刺したり、魚を焼いたり全部を自分たちですることができ、子どものうれしそうな顔が見られて親も大満足でした。職員の皆様ありがとうございました。

2 成果

- ・ 川で実際に生きた魚をつかまえ、それを焼いて食べるという体験をしていただくことで、参加者に大自然の雄大さや命の大切さなどを感じていただくことができた。
- ・ 前回の反省を踏まえ、河川プールに仕切りの網を張り、約半分の面積にすることで、参加者が魚つかみをスムーズにすることができた。
- ・ 焼き場をU字構からBBQコンロにしたことで、魚も焼きやすい状態を提供することができた。
- ・ 参加者に何回でも参加したいと思っただけの主催が開催できた。

3 課題

- ・ 参加者とスタッフにブトなど虫刺され被害が出たので、魚焼き場に虫よけスプレー以外にも対策を講じたい。
- ・ 人気の主催なので、抽選で落ちてしまった方やもう一度参加したい方のために魚つかみを提供できる機会をつくる必要があると考える。

